

# 質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。

6月定例会は個人質問のみです。質問時間は答弁とあわせて40分です。

三田市議会会議録 三田市議会インターネット中継 検索

## 坂本 三郎 議員

市民の会



### 教育

#### 特別支援学校に必要な環境・設備、人的配置を

議員 国の障害者差別解消法に則り条例を早急に制定すべきと考えるが、市の見解は。また、昨年開校したひまわり特別支援学校の児童・生徒に、合理的配慮は行われているのか。学校が子どもの命を預かる以上必要な環境や設備、人的配慮をすることが必要では。

#### 市 合理的配慮の提供・障害理解を促進する

障害者差別解消法に基づき、市では対応要領を整備し、市立幼稚園・小中学校・特別支援学校でも取り組みを実施している。条例制定については、法の趣旨を踏まえ検討する。(森市長) ひまわり特別支援学校については、課題を整理し、県立特別支援学校や他市の状況等も研究しながら充実に努める。(鹿嶽教育長)

他の質問 ● 人権問題に対する市当局、市教育委員会の見解について

## 美藤 和広 議員

市民の会



### まちづくり

#### 学生や働く若者が住みたいまち・三田を

議員 約6千人が大学等に通っているのに、三田は通過点。三田に働く若者は三田市外で賃貸生活。市民にも協力してもらい、第二の故郷となるよう、定住策を講じるべきだと思う。

#### 市 若者参加で若者に魅力あるまちをめざす

若者には、働く場所・住む場所・賑わいのある場所で魅力に欠けている。総合戦略の中で「地域に元気を」では、学生にアンケートや提言から、アイデアやエネルギーを活かした地域活動や各種活動で、三田の魅力に触れ、地域との絆を育むことで、U I J ターンや市内への定着を図る。(森市長)

他の質問 ● 働き続けるための対策 ● 大災害への備え



\* U I J ターン：都市から地方へ移住する現象。Uターンは都会から生まれ故郷へ、Iターンは地方へ移り住むこと。Jターンは出生地に近い街へ戻ること。

## 檜田 充 議員

市民の会



### 教育

#### 結果として「給付型」となる奨学金の創設を

議員 本市において、市より経済的支援を受けている児童・生徒は652人で7.3%に達している。卒業後、本市に居住する等の要件を付し、クリアした際には返還を免除することにより、結果として「給付型」となる奨学金を創設してはどうか。

#### 市 提案の奨学金も含め貧困対策について研究を進める

市として、貸与型の奨学金制度を設けており、本年より専修学校へも枠を拡大した。子どもの貧困対策について、提案の奨学金も含め、国・県や他市の状況を踏まえながら様々な側面より、本市における実施に向け研究を進める。(森市長)

他の質問 ● 学校規模・配置の適正化 ● 学校現場のICT化推進状況及び展開 ● 公契約条例制定

## 福田 秀章 議員

盟政会



### まちづくり

#### カルチャータウン地区センターの整備について

議員 市長は今年の政策に学生が集う街を掲げられているが、大学生が集う場所が必要ではないか。学生が集う場所として地区センター施設の設置についてどう考えているのか。

#### 市 大学生が集う場所づくりと地区センター施設の開発について

大学生が集う場所づくりは必要なものと考えており、大学並びに地域住民の皆様と連携して検討を進める。また、施設の開発については、県企業庁、北摂コミュニティ開発センター、市の三者で「カルチャータウン地区センター基本計画策定委員会」を設け協議を進めている。(森市長)

他の質問 ● 高齢者の徘徊対策 ● 第4次三田市農業基本計画の策定 ● 公園駐車場の適正利用

## 長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



### 子育て

#### 産後うつ対策の充実を

議員 東京都での調査結果では、産後の自殺原因で最も多かったのが産後うつであったことがわかった。現在市でも様々な取組を行っているが、特に母親の産後ケアの充実を求める。母親の検診回数増や体制の整備は。

#### 市 妊娠期からの切れ目のない支援に取り組む

検診回数増は考えていないが、10月から試行する三田版ネウボラで専任の保健師を配置し、妊娠初期からの面談や関係機関との連携等の体制強化を図り、継続的に支える体制づくりを行う。(西本健康福祉部長)

他の質問 ● 乳幼児健診の充実 ● 避難所の開設



\* ネウボラ：フィンランドで生まれた、妊娠期から就学前にかけての子ども家族を対象とする支援制度

## 佐貫 尚子 議員

新政みらい・維新



### 教育

#### サポートファイルの活用について

議員 障害を持ち支援が必要とする児童生徒に対して、サポートファイルがあるが、一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を克服し、合理的配慮や支援の在り方に十分に活用されているのか。

#### 市 子どもや保護者の不安を軽減

サポートファイルを活用することで、福祉・医療等との連携も含めた情報を引き継ぎ、就学前から高校入学時等まで継続した支援ができるようになり、新しい生活に対する子どもや保護者の不安軽減につながっている。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ● 400メートル陸上トラックの整備 ● 権利擁護専門相談会等の周知方法



\* サポートファイル： 集団生活や学習活動等で支援が必要な子どもが、幼稚園や学校等での生活を円滑にスタートするためのツールとして保護者・学校園所・保険療育機関等と一緒に作成するもの

## 長谷川 美樹 議員

日本共産党三田市議団



### 福祉

#### 制度の狭間での社会的孤立をなくすために

議員 失業・ひきこもり等で社会的孤立の市内実例を示し、実情把握の「入口」と解決への「出口」対応、及びセーフティネットの仕組みづくりについて質問する。地域での「気づき」「SOS発信」ができるように、また食料・衣服・住居の緊急セーフティネットの仕組みづくりを求めるが。

#### 市 地域と共にセーフティネット構築に取り組んでいく

市の権利擁護・成年後見支援センターが、地域の皆様の気づきを大切に、地域と共に「心配な方」への見守りをしていくセーフティネット構築に取り組む。(西本健康福祉部長)

他の質問 ● 市契約の適正な労働条件確保 ● 正規職員の増員



\* セーフティネット： 病気、事故、失業等で困窮した場合に、救済し保護する仕組みのこと。